



Sustainability Report 2023



CONTENTS

企業紹介 … P2

社長メッセージ … P3

サステナビリティ方針 … P4

ESG取り組み事例 … P5～7

ESGデータ集 … P8～10

編集方針

- ・ **報告対象範囲** 高松機械工業株式会社単体
- ・ **報告対象期間** 2022年度(2022年4月～2023年3月)の活動について報告
※対象期間前後の活動も一部含む
- ・ **発行時期** 2023年10月
- ・ **掲載場所** 当社ホームページにて公開
URL : <https://www.takamaz.co.jp/sustainability/>
- ・ **発行部門** 高松機械工業株式会社
管理本部 企画経理部 経営企画課
E-mail : k-kikaku@takamaz.co.jp
TEL : 076-274-1410 FAX : 076-274-1418

経営理念

TAKAMAZ は「社会に貢献」する。

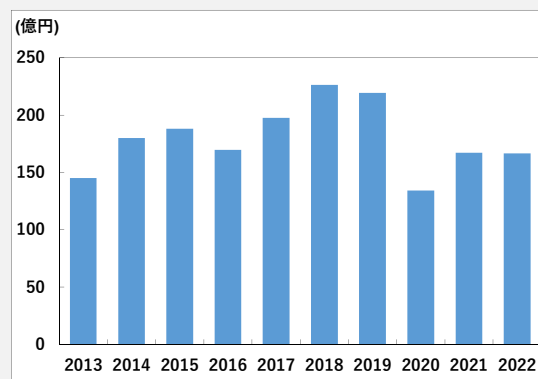
お客様には、安全でメリットのある商品を
 従業員には、生活の安定と希望を
 株主には、適切な配当を
 提供すると共に、協力企業とも共存共栄の精神をもって、
 社会の発展に積極的に貢献する。

企業概要（2022年度末現在）

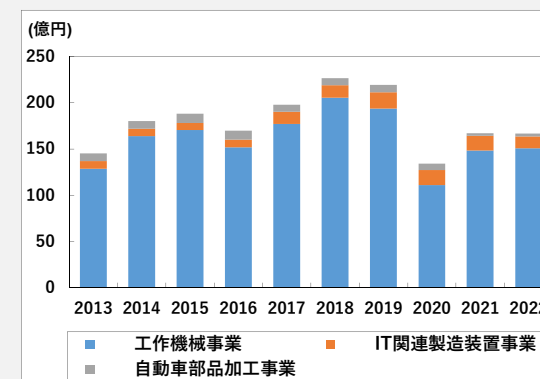
会社名	高松機械工業株式会社
設立年月日	1961年7月1日
本社所在地	石川県白山市旭丘1-8
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード 6155)
連結売上高	166億75百万円
正社員数	連結：608名 単体：535名（平均年齢 37.9歳）
生産拠点	・本社工場 ・あさひ工場 ・第2工場 ・第3工場 ・第4工場 ・開発センター
国内拠点	・関東支店 ・名古屋支店 ・大阪支店 ・東北営業所 ・北信越営業所 ・厚木営業所 ・浜松営業所 ・広島営業所
海外拠点	・TMU(アメリカ)・TME(ドイツ)・TMT(タイ) ・TPMP(タイ)・喜志高松(中国)・友嘉高松(中国) ・PTTI(インドネシア)・TMVN(ベトナム) ・TMMX(メキシコ)

業績（連結）

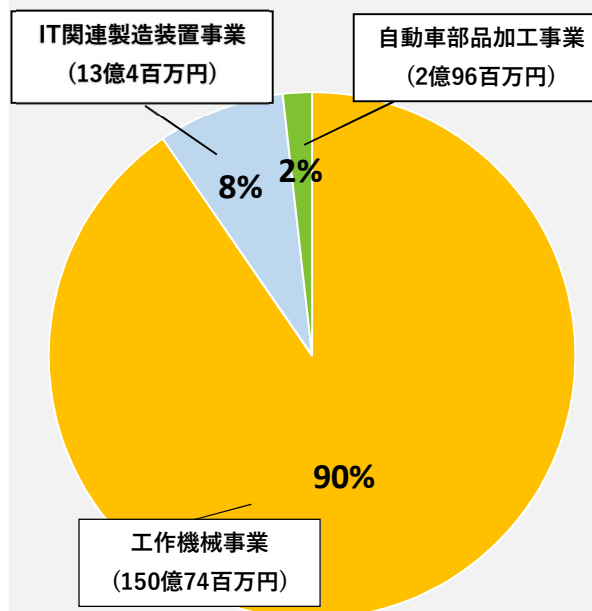
■連結売上高



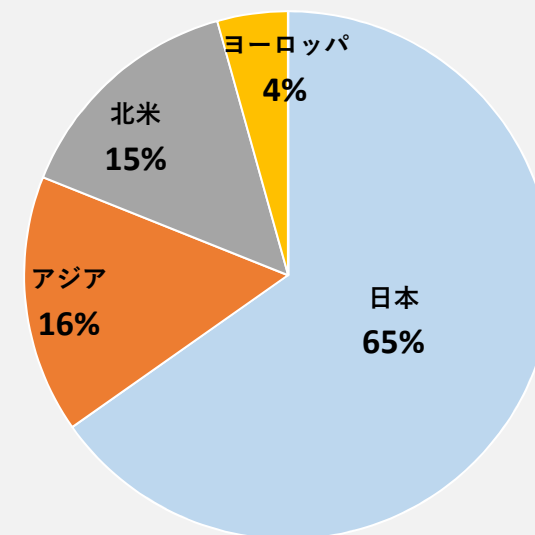
■セグメント別連結売上高



■セグメント別構成比（2022年度）



■地域別構成比（2022年度）



TAKAMAZの企業概要の詳細はHPにも掲載しています。下記リンクよりご確認ください。

・「TAKAMAZってどんな会社？」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/company/about/>) ・「5分で分かる！高松機械工業」⇒(<https://www.takamaz.co.jp/column/3045/>)

社長メッセージ

サステナビリティ実現に向け、 社内体制の地盤が固まってきました。

代表取締役社長 高松 宗一郎



はじめに

ステークホルダーの皆様には、当社に対するご理解、ご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今回でサステナビリティレポートの発行は2回目となりました。前回と異なる新しいESGの取り組み事例をご紹介しますほか、データ集においても開示項目を追加しています。当社では、昨年度よりスタートした中期計画2024において「サステナビリティの実現」を主要戦略の一つに定めてから2年目を迎え、社内において、サステナビリティやSDGsの取り組み事例が確実に積み上がってきていることを実感しています。

今後も、当社の考え方や取り組み事例をわかりやすくお伝えしていく所存です。

当社の事業とサステナビリティ

当社の事業は、主に3つの分野から構成されており、当社主力の工作機械事業で製造している工作機械は、あらゆる機械を作る「機械」であることから「マザーマシン」と呼ばれ、ものづくりの裏方として全ての産業を支えています。

また、自動車部品加工事業は、当社ブランドの工作機械製品で構築した自動化ラインをもとに、自動車関連の部品を製造しており、IT関連製造装置事業は、液晶や半導体の製造ラインの一部として使用される機械等を生産しています。

このように、当社は、社会に必要不可欠なものを提供しており、当社の「モノづくり」は、持続可能な社会の実現に貢献しているものと自負しています。

サステナビリティへのコミットメント

サステナビリティを巡る課題の中で、環境面ではカーボンニュートラルが注目されています。当社では、2023年8月より本社工場において太陽光発電設備の運用を開始しました。これにより、CO2排出量抑制とコスト削減に効果が期待されます。

サステナビリティに向けた製品開発

製品面では、当社製品自体の消費電力を削減するだけでなく、EV向け製品の開発など、お客様のカーボンニュートラル貢献に繋がるモノづくりを強化していきます。新機種「XTS-6」や「XWG-3」は、従来機よりも省エネ・省スペース化を実現し、カーボンニュートラルに貢献します。

更に、サステナビリティを巡る社会課題の中で、人手不足も深刻さを増していますが、当社が培った省人化技術を活用して、リサイクル業界向けの「資源ゴミAI自動選別機」を開発し、製品化に向けた取り組みを進めています。

全社規模でのサステナビリティ活動

今年度より、各部門でサステナビリティやSDGsに繋がる目標を設定し、取り組みを進めています。これらの取り組みは継続的なPDCAが重要と認識しています。取り組み内容について、定期的にモニタリングや議論を行い、実効性を担保させていきます。

今後も当社は、企業の成長と社会への貢献の実現に取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TAKAMAZのサステナビリティ

サステナビリティ基本方針

「TAKAMAZは、常に挑戦し続けるモノづくりを通じて、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献します。」

高松機械は、「社会に貢献する」を経営理念に、創業以来モノづくりに取り組んできました。

















近年、SDGs・カーボンニュートラルなど、サステナビリティを巡る様々な社会課題が山積しており、企業活動を通じて、これら課題解決への貢献が求められています。

これら課題への取り組みが、当社経営理念「社会に貢献する」と同じゴールに向かっていくと確信しています。

私たちは、企業価値の源泉であるモノづくりを通じて、これからも持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サステナビリティ体系図

以下は、私たちのサステナビリティの取り組みの中核となる「体系図」です。「体系図」に基づき、取り組みを推進していきます。

	分類	マテリアリティ（重要課題）	取り組み方針	SDGsの達成
ESG	① 環境 (E)	モノづくりを通じて 地球環境の 負荷を軽減します	①地球にやさしい製品を提供します。	   
			②企業活動での省エネルギー化を推進します。	
			③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	
	② 社会 (S)	モノづくりを通じて 社会に貢献します	①安全・安心・高品質な製品を安定的に提供します。	      
			②アフターコロナを見据えた企業活動を推進します。	
			③協力企業と連携します。	
			④地域社会に貢献します。	
	③ ガバナンス (G)	社員と会社の 持続的な成長を 目指します	①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
			②健康経営を推進します。	
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。				
	経営基盤を さらに強化します	①全社最適な会社運営を行います。	 	
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。				

サステナビリティ推進におけるマテリアリティ

事業活動に関わるさまざまな課題のなかから、「ステークホルダーにとっての重要度」と「自社が社会・環境・経済に与える重要度及び自社の経営にとっての重要度」の2つの視点のもと取り組みの検証を行い、以下の4つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

マテリアリティ（重要課題）とその選定理由
<p>・ Environment（環境）</p> <p>「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」</p> <p>私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。</p>
<p>・ Social（社会）</p> <p>「モノづくりを通じて社会に貢献します」</p> <p>私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会と共に事業活動を行っています。地域社会と共生し、成長発展する好循環を生み出していきます。</p>
<p>・ Governance（ガバナンス）</p> <p>「社員と会社の持続的な成長を目指します」</p> <p>私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社と共に成長する好循環を生み出していきます。</p> <p>「経営基盤をさらに強化します」</p> <p>私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っています。</p>

E (環境)

環境面では、省エネ・省スペースな新製品開発に注力し、環境負荷の低い製品をお客様に提供するとともに、認証取得しているISO14001に基づき、環境方針と環境目標の達成をはかってきました。

マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

「モノづくりを通じて地球環境の負荷を軽減します」

私たちは、地球環境の保全と利用のバランスを維持し、持続可能な世界を目指すことを、重要な社会課題と認識しています。工作機械をはじめとした優れたモノづくりにより、地球環境負荷の軽減に取り組んでいきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①地球に優しい製品を提供します。	
②企業活動での省エネルギー化を推進します。	   
③政府方針に準じてカーボンニュートラルを推進します。	

取り組み事例

紹介動画 (<https://www.youtube.com/watch?v=IUnsB-Q2se8>)

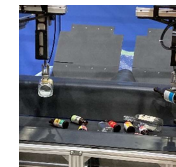
新事業への挑戦 「資源ゴミAI自動選別機」

資源ゴミAI自動選別機は、リサイクル業界の課題を解決する製品です。

リサイクル業界の人手不足解消に寄与するとともに、ビンのリサイクルを推進し、SDGs達成を叶えます。

まずは試作機をMEX金沢2023や、アジア最大級の環境イベントであるNEW環境展に参考出展しました。現在は販売に向けて取り組みを推進しています。

今後は、ビン以外の選別が可能な製品開発も行っていくほか、リサイクル市場に対し、当社の自動化技術をもって、人手不足を解消するソリューション提案をはかっていきます。



「カーポート型」と「屋根設置型」の太陽光発電設備設置

当社本社工場にて設置工事を行っていた太陽光発電設備が運用開始しました。

本設備の稼働により、2021年度比較で、本社工場のCO2排出量は14% (約390トン-CO2)削減できる見込みです。太陽光パネルは、本社工場屋根および社員駐車場のカーポート上に設置しています。北陸電力グループのカーポート型太陽光発電設備は、当社が北陸初となります。

再生可能エネルギーの導入で、脱炭素化・カーボンニュートラルに向けて一歩前進しました。

これからも、再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいきます。



新サービス 「コレット3R (使用済みコレットの再活用)」

お客様の使用済みとなったコレットとフランジを回収し、再研磨を施すことで再度お客様に利用していただけるサービスを開始しました。これによって、廃棄物の発生抑制や、限りある資源の有効活用に繋がっていきます。

これからも当社は、持続可能な社会の構築に貢献するため、さまざまな取り組みを通じて社会課題の解決に努めていきます。



S (社会)

社会面では、高い技術を誇る製品を安定供給するとともに、地域社会の一員として社会の期待に応えてきました。

マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

「モノづくりを通じて社会に貢献します」

私たちは、本社・国内各拠点・海外グループ各社それぞれの地域社会とともに事業活動を行っています。地域社会と共生、成長発展する好循環を生み出していきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
①安心・安全・高品質な製品を安定的に提供します。	
②アフターコロナを見据えた企業活動を推進します。	
③協力企業と連携します。	
④地域社会に貢献します。	

取り組み事例

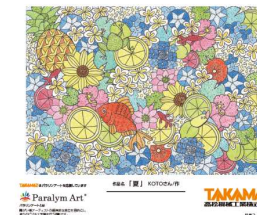
第62期株主通信 (<https://www.takamaz.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/06/230629.pdf>)

パラリンアートの活動支援

「パラリンアート」とは、一般社団法人 障がい者自立推進機構が実施している、障がい者アーティストの社会参加と経済的自立への支援を行う活動です。

当社が本社を置く石川県在住のアーティスト、KOTOさんの「夏」という作品を第62期 株主通信の表紙にて掲載させていただきました。

株主の皆様へ
第62期 株主通信
2023年6月19日～2023年6月30日



大学での講義

当社社員が金沢大学・富山大学・金沢工業大学の講義に、毎年講師として参加しています。

これまでも各大学にて当社社員が講義を担当しており、当社の社員の中には、学生の時に講義を受講した社員がいます。

地域への貢献とともに、当社のモノづくりの魅力を伝える場として、受講した学生が当社に興味を持って貰える機会となれば嬉しく思います。



ファミリーデー

2022年8月20日、あさひ工場の完成を記念したファミリーデーを開催しました。

当イベントは、日々社員を支えていただいている家族の皆様へ感謝し、社員が働く職場に対する理解を深めてもらうことを目的として企画しました。

安全・安心なモノづくりの現場や働き方の多様性を実現する様子をご覧いただき、家族に会社の魅力を知ってもらう良い機会となりました。

社員が日々の仕事を頑張れるのは家族の支えがあってこそということを理解し、今後も社員と家族を大切にする会社づくりに努めてまいります。



G (ガバナンス)

ガバナンス面では、すべてのステークホルダーから信頼され、魅力ある企業となるべく、最適な体制の構築と強化をはかってきました。

マテリアリティ (重要課題) とその選定理由

「社員と会社の持続的な成長を目指します」

私たちは、社員すなわち「人材」こそが、企業の成長や発展の源泉であると認識しています。社員一人一人が、働きやすさや働きがいを感じ、健康に仕事ができる環境を整備し、会社とともに成長する好循環を生み出していきます。

「経営基盤をさらに強化します」

私たちは、企業活動の土台である経営基盤の強化を重要な課題と認識しています。上場企業として、コーポレート・ガバナンスに基づいた経営を行っていきます。

取り組み方針と達成目標

取り組み方針	SDGsの達成
「社員と会社の持続的な成長を目指します」	
①働きやすい、働きがいのある職場環境を整備することで、従業員エンゲージメントを高めます。	  
②健康経営を推進します。	 
③挑戦し、成長し続ける社風を醸成します。	
「経営基盤をさらに強化します」	
①全社最適な会社運営を行います。	  
②事業ポートフォリオへの分析に基づく経営資源の投入を行い、持続的な会社発展に努めます。	 

取り組み事例

健康経営の取り組み

従業員の「こころ」と「からだ」の健康保持・増進のための制度や環境を整えることで、従業員の日々の生活を充実させ、一人ひとりの個性や能力が最大限に発揮されることが、企業の発展や社会への貢献に繋がると考え、健康づくりを推進します。

具体的な取り組み例は以下の通りです。

- ・ストレスチェック
- ・喫煙率低下の取り組み
- ・歯と口腔に関する研修
- ・メンタルヘルスカウンセリングの定期実施
- ・定期健康診断
- ・インフルエンザ予防接種実施、費用補助

歯周病予防の講習の様子



社員が安心して仕事のできる環境へ

社員が安心して仕事のできる職場環境に向けて、改善の取り組みを推進しています。

具体的な取り組み例は以下の通りです。

- ・福利厚生倶楽部(リロクラブ)への加入
- ・資格取得奨励一時金制度
- ・社員食堂リニューアル
- ・各種イベントチケット配布
- ・法人フィットネスクラブとの契約
- ・その他(社内行事・クラブ活動など)

中堅・若手社員主導プロジェクト 「未来推進チーム」

「未来推進チーム」とは、創業90周年の未来に向けて、「家族や友人に誇れる会社」を目指し、中堅・若手有志が一丸となって社内にあるさまざまな課題解決に積極的に挑戦していくプロジェクトです。

メンバーは「事業」「組織」「職場環境」の3チームに分かれ、それぞれの側面から課題解決に向けて挑戦していきます。

2022年度から活動を開始して今年で1年経ちます。社内表彰制度や、社内アイデア公募制度の制定や、チーム内の勉強会を実施など、目標に向けてそれぞれのチームが動き出しています。

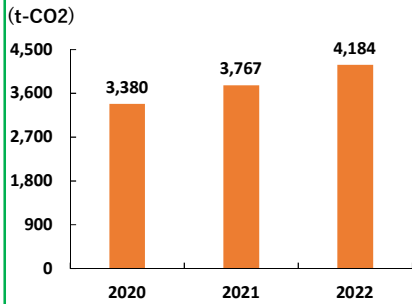


ESGデータ(1)

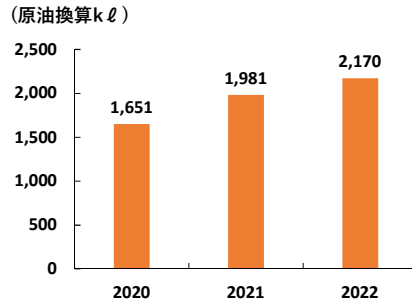
・報告対象期間 2022年度(2022年4月～2023年3月)

●環境に関するデータ

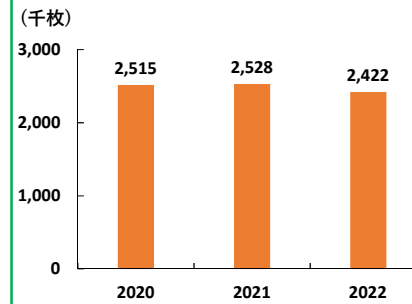
■Scope1+2 温室効果ガス排出量



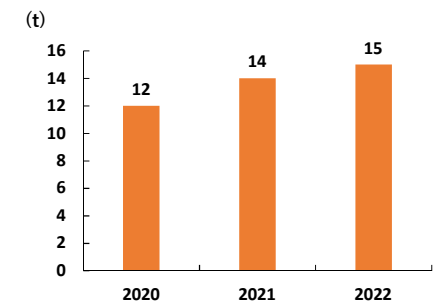
■原油換算エネルギー使用量



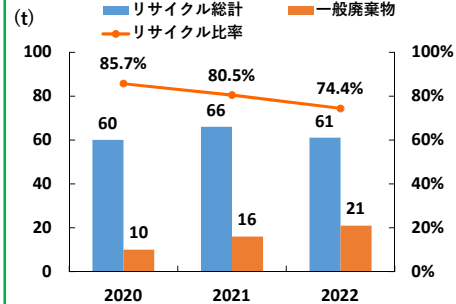
■コピー用紙使用量



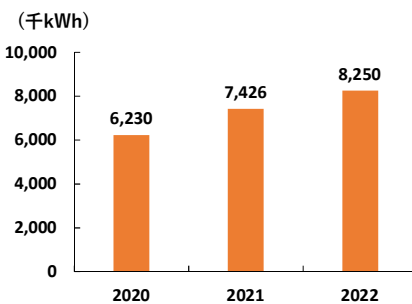
■廃プラ類



■リサイクル量と一般廃棄物量

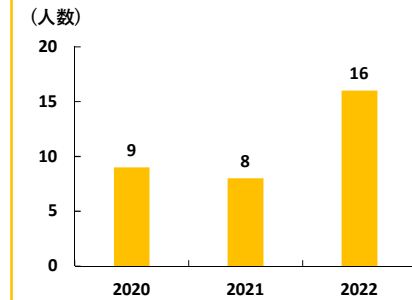


■電力使用量

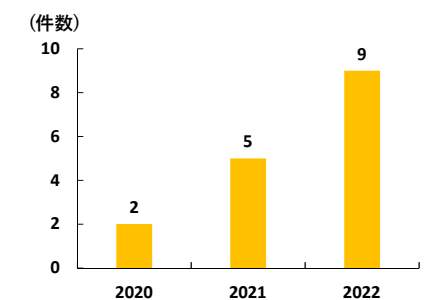


●社会に関するデータ

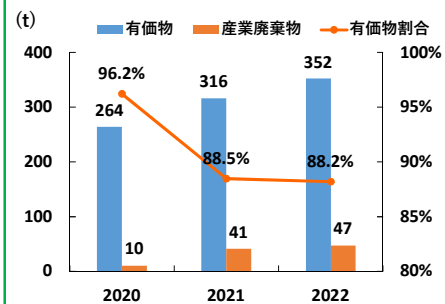
■インターンシップ受け入れ人数



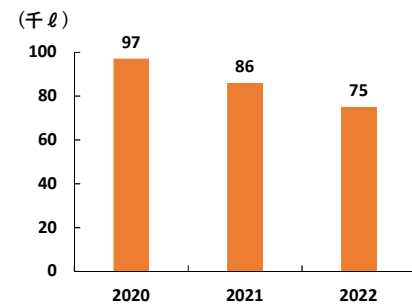
■工場見学受け入れ件数(学校・各種団体)



■有価物量と産業廃棄物量

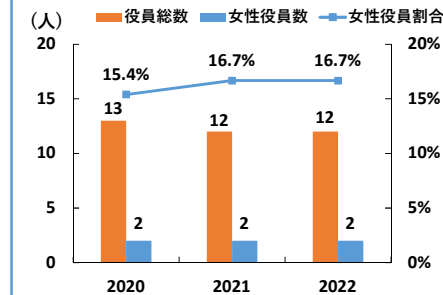


■廃油

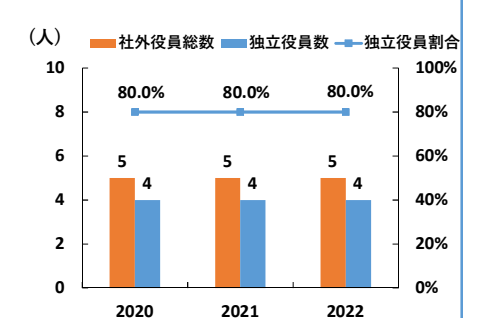


●ガバナンスに関するデータ

■役員総数と女性役員



■社外役員総数と独立役員

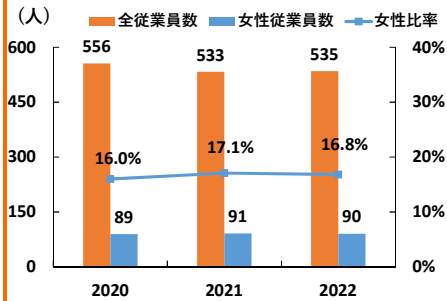


ESGデータ(2)

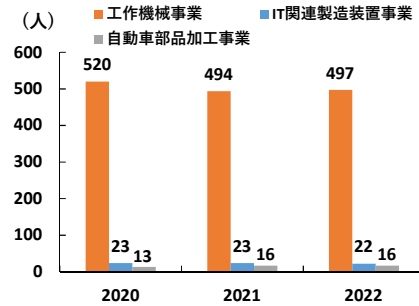
・報告対象期間 2022年度(2022年4月～2023年3月)

●従業員に関するデータ

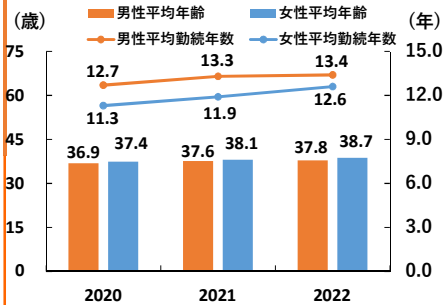
■従業員数



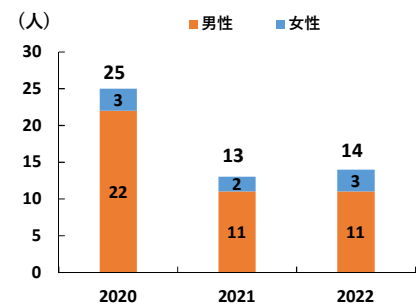
■事業別従業員数



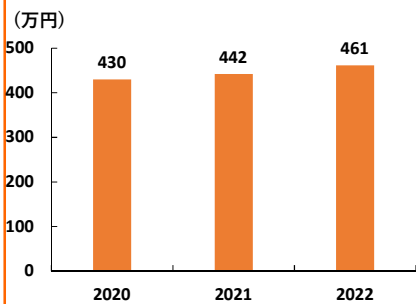
■平均年齢と平均勤続年数



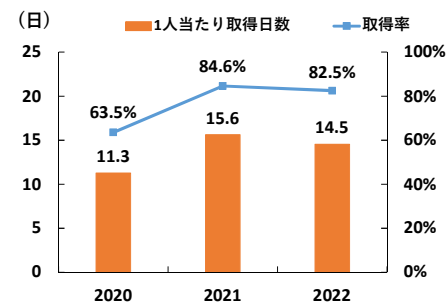
■新規採用者数



■平均年間給与



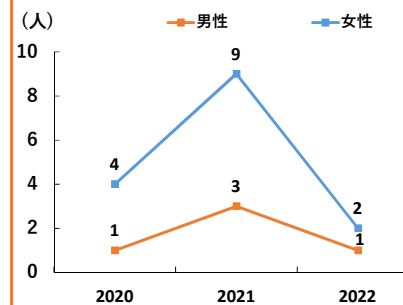
■有給休暇取得日数と取得率



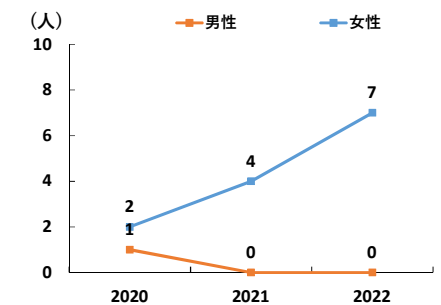
■仕事と家庭の両立支援制度

制度名	制度概要
育児休業	子供が1歳になるまで（条件を満たす場合は2歳まで延長可）
介護休業	対象家族1人につき通算93日まで（3回を上限として分割取得可能）
育児時間短縮勤務	子供が3歳になるまで
介護時間短縮勤務	介護短時間勤務利用開始から3年の間で2回以上

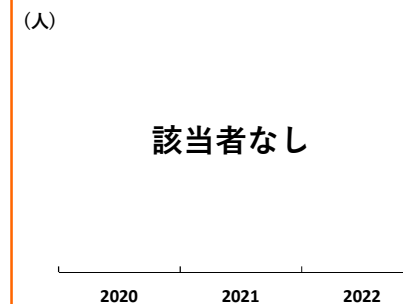
■育児休業者数



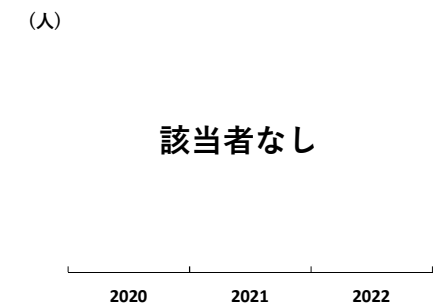
■育児時間短縮勤務者数



■介護休業者数



■介護時間短縮勤務者数



ESGデータ(3)

・報告対象期間 2022年度(2022年4月～2023年3月)

●教育に関するデータ

■スキルアップ・キャリアアップの支援

TAKAMAZは社員のスキルアップ・キャリアアップへの支援に力を入れており、階層別・専門教育を計画し、実施するほか、随時OJTを行っています。

また、国家技能検定等、奨励資格を設定し、社員の自己啓発も促しています。会社指定の資格を取得した場合にはその重要度や難易度に応じて奨励金を支給し、自己啓発のための通信教育には受講料を補助しているほか、国内の大学院や研究所の社会人過程で学ぶ社員を対象に、学費の補助も行っています。

■奨励資格の合格人数

科目	2020年度 (人数)	2021年度 (人数)	2022年度 (人数)
国家技能検定 (特級)	1	3	3
国家技能検定 (1級)	8	4	12
国家技能検定 (2級)	13	24	22
QC検定 (2級)	-	2	-
ビジネスキャリア検定 (2級)	8	4	-
知的財産管理技能士 (2級)	1	2	1
実用英語技能検定 (準1級)	-	1	-
第1種衛生管理者	-	3	1
社会保険労務士	-	-	1

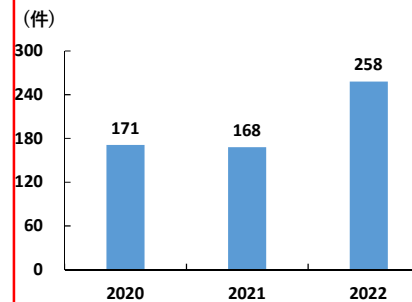
■主な奨励資格の保有人数

	科目	2022年度末 (人数)
国家技能検定 (計404人)	国家技能検定 (特級)	9
	国家技能検定 (1級)	134
	国家技能検定 (2級)	261
その他資格 (計96人)	QC検定 (2級)	5
	ビジネスキャリア検定 (2級)	57
	知的財産管理技能士※1 (2級)	5
	実用英語技能検定 (準1級)	3
	第1種衛生管理者	11
	その他※2	15

※1 旧知的財産検定を含んでいます。

※2 その他には、技術士、社会保険労務士などを含んでいます。

■教育実施件数



■通信教育の利用人数

